

令和6年度 第4回 技術研修会 プログラム

- 1 日時 令和 6年10月31日(木)
- 2 場所 北九州市生涯学習総合センター
北九州市小倉北区大門一丁目6番43号 ※KCC 事務所から徒歩1分
- 3 受付 12:30 より
- 4 研修 13:00～16:30 [3部構成]

【第1部】 橋台背面FCB工法盛土のFEM解析による耐震性能検証

研修時間 : 13:00～14:00(質疑応答含む)

講師 : FCB研究会事務局 前野英昭(麻生フォームクリート㈱事業推進部長)

橋台背面にFCB工法を採用したケースにおいて、これまで巨大地震による FCB 盛土体の変状やFCB盛土が橋台に悪影響を与えた事例は確認されていないが、学術的なアプローチによる検証はなされていなかった。

今回、FCB 盛土を含む全体地盤に地震動を与え、FEM 解析を行い、①FCB 本体の変状は発生しないこと、②FCB盛土が橋台に悪影響を与えないことが明らかになった。

- ① FCB工法概要
- ② 用途例
- ③ 橋台背面FCB工法盛土のFEM解析による耐震性能検証
- ④ 特殊事例/商品紹介

【休憩】 14:00～14:15

【第2部】[1] 乾式吹付工法(リフトドライショット工法)について

[2] 劣化した橋梁床版上面補修材(リフレモルセット SF)について

研修時間 : 14:15～15:15(質疑応答含む)

講師 : 住友大阪セメント㈱ 福岡支店建材 G(GL) 大場 十吾

[1] 乾式吹付工法は、圧縮空気で圧送した粉体材料と、液体ポンプで圧送した液体をショットして吹付ける工法で、従来の湿式工法では不可能であった長距離圧送(300m)と厚付施工を可能にしたコンクリート構造物の補修工法です。

[2] リフレモルセット SF は、高機能粉末樹脂及び特殊繊維をプレミックスした橋梁床版上面の専用補修材料です。エポキシ樹脂により床版と付着させることで付着・耐久性を高める事を可能としました。

- ① 乾式工法の特徴、工法説明、従来工法との比較、実績説明
- ② 劣化橋梁の現状、NEXCO 基準、材料特性の説明

【裏面へつづく】

【休憩】 15:15～15:30

【第3部】 SPR-SE工法エキスパンドタイプによる下水道管における自立管構築について

研修時間 : 15:30～16:30(質疑応答含む)

講師 : 積水化学工業(株) 環境・ライフラインカンパニー 総合研究所
エンジニアリングセンター 管路更生グループ 向井 雄大

SPR-SE 工法エキスパンドタイプは、既設管の内側に耐食・耐摩耗性を有する硬質塩化ビニル樹脂製の更生材(プロファイル)を、らせん状に製管した後、らせん管を拡張(エキスパンド)し、既設管に密着させる自立管更生工法です。中空異形断面プロファイルにより、塩ビ樹脂のみで自立剛性を確保し、モルタルレスにより従来の製管工法に比べて大幅な工期削減が特徴であり、下水供用下かつスピーディーに、自立更生可能な工法です。

- ① 管きょ更生工法の概要
- ② SPR-SE工法の概要
- ③ SPR-SE工法エキスパンドタイプの概要
- ④ SPR-SE工法エキスパンドタイプの設計
- ⑤ SPR-SE工法エキスパンドタイプの工法選定と施工事例